連合三重

No.271

2026年11月27日発行

日本労働組合総連合会
三重県連合会
〒514-0004 三重県津市栄町1丁目891
TEL.059-224-6152
FAX.059-223-3633
発行責任者　藤 田 和 彦
編 集 人　伊 藤 由 幸

メールアドレス info@mie.jtuc-rengo.jp　HPアドレス https://rengo-mie.jp

Facebook

安心社会へ 果敢にアクション！
～広げよう「理解・共感・参加」の輪～



▲主催者挨拶をする番条会長

10月27日、第38回臨時大会をアスト津「アストホール」において開催しました。

番条会長は冒頭挨拶で、「2026春季生活闘争は3年連続の5%超の賃上げが実現された。来年も5%を超える上昇が期待されているが、地域や企業規模による格差は依然として大きく、三重県内でも中小企業や非正規雇用の方々の処遇改善は道半ばである。政治・経済・社会が大きく揺れ動く中で、『賃上げの継続』『働き方の改善』『地域産業の基盤強化』の三つを確実に進めることが不可欠。働く仲間の暮らしを守る砦となる取り組みを進めていく」と訴えました。

来賓として、三重県より一見知事、三重労働局より渡辺局長、三重県経営者協会より小倉会長をはじめ、各政党代表や新政みえ稲垣代表、福祉事業団体の方々、三重県議会議員を今期でご勇退予定の舟橋県議と日沖県議にご臨席いただきました。その後、2027年度の運動方針や予算、役員補充選挙などについて、満場一致で確認されました。

すべての働く者が課題を共有し、社会に広がりのある運動で「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向けて、組合員、単組、構成組織、地域協議会が結束し、行動していきましょう。

また、臨時大会の終了後に「第21回統一地方選挙立候補予定者（三重県議会議員）の紹介ならびに決意表明」を行いました。番条会長は「働く人、地域の方々の声を政策に反映していただきたい」と挨拶をした後、推薦した21名を代表して、新政みえ稲垣代表へ、推薦状を授与しました。



▲推薦状を受け取る稲垣代表



▲第21回統一地方選挙に向けた団結ガンバロー



▲大会議長の阿部さん（左）（私鉄総連）と小林さん（右）（JEC連合）

2027年度連合三重役員

役　職		氏　名	構成組織名
会　長		番条　喜芳（専従）	電力総連
副会長		森　美樹	電機連合
		宮端　整吾	自動車総連
		原田　貴文	自治労
		橋本　薫	ＵＡゼンセン
		坂　進	ＪＡＭ
		山門　真	三教組
	新	舘　麦	全電線
	新	刀根　隆洋	ＪＥＣ連合
		宮脇　孝輔	ゴム連合
		加藤　義明	私鉄総連
		逵　孝春	ＪＰ労組
	新	黒田　智之	電力総連
事務局長		藤田　和彦（専従）	自治労
副事務局長		伊藤　由幸（専従）	私鉄総連
		廣瀬　純子（専従）	ＪＰ労組
執行委員	新	山池千奈緒	電機連合
	新	須藤　千尋	自動車総連
	新	小林　郁子	自治労
		山川　清美	ＵＡゼンセン
	新	中島　美波	三教組
		坪内　初姫	私鉄総連
		寺田　美鈴	ＪＰ労組
		中尾　希恵	電力総連
		奥中　雄二	基幹労連
	新	黒田　将男	フード連合
		山本　昌司	運輸労連
		新井　博晶	情報労連
		辻　昇	ＪＲ連合
		仲野　綾花	全労金
会計監査		加藤　早美	ＪＡＭ
		豊田　一義	全電線
		田端　弘幸	ゴム連合

退任役員

・副会長
石田 司郎（全電線）、長谷川 誠（JEC連合）
山本 和典（電力総連）
・執行委員
佐藤 江美（電機連合）、加藤 理沙（自動車総連）
橋本 麻友美（自治労）、村田 美奈（三教組）
佐藤 隆司（フード連合）



三重県の最低賃金改定



2026年10月1日より三重県の最低賃金が改定され、これまでの1,087円から56円アップの時給1,143円になりました。

今回の改定を周知するため、各地協において、10月5日から8日にかけて街宣行動を実施し、街頭演説とチラシの配布を行いました。またFM三重のラジオ番組やラジオCM、フェイスブックなどを通じて周知を行いました。

なお、特定(産業別)最低賃金についても12月21日より改定されます。



▲桑員地協(10月5日)





▲FM三重の「つながるジカン」収録の様子



▲三泗地協(10月8日)



▲津地協(10月6日)



▲松阪地協(10月6日)

特定(産業別)最低賃金とは?



労使が「地域別最低賃金」よりも高い水準で最低賃金を定めることが必要と認めた場合に設定されます。三重県では今年は2業種で審議されました。

三重県特定(産業別)最低賃金(12月21日発効)

業種	時間額
三重県電線・ケーブル製造業最低賃金	**1,153円**
三重県輸送用機械器具等製造業最低賃金	**1,167円**



働く者の「働き方改革」推進のための要請を実施

現在、国において労働時間法制の見直し議論が進められていますが、持続可能な地域社会を維持するために今求められているのは、裁量労働制の対象業務の拡大や、変形労働時間制の要件緩和などの長時間労働につながりかねない規制緩和ではなく、誰もが安心・安全に働き、生活時間を確保できる労働時間規制の確立と生産性向上の両立です。

連合三重は働く者の安全と健康を確保し、誰もが安心して働き続けられる社会の実現に向け、三重労働局、三重県社会保険労務士会に要請を実施しました。三重労働局への要請では、①「働き方改革」の定着・推進に向けた実効性のある法規制を実現すること、②裁量労働制の拡充などの規制緩和は行うべきではないこと、③労働基準監督署における厳格な指導・監督は維持すべきこと、④ILO三者構成原則に基づく民主的な合意形成への理解促進について訴えました。

その後、労働時間の適正把握の徹底と時間外労働の上限規制の遵守について、指導や助言を引き続き行うこと。また、時間や基準のみで一律に考えるのではなく、メンタルヘルス対策などにも注視し、労働者一人ひとりの働き方を考える必要性について意見交換を行いました。

今後も、働く者の安全と健康を確保し、誰もが安心して働き続けられる社会の実現に向け、取り組みを進めていきます。



▲三重労働局(10月2日)



▲三重県社会保険労務士会(9月24日)

青年委員会主催「2026ユースフォーラム」を開催

～仲間づくり～

9月26日(土)、伊賀の里モクモク手づくりファームにおいて「仲間づくり」をテーマに青年委員会主催の「2026ユースフォーラム」を開催し、48名の組合員が参加しました。

青年委員は準備をはじめ、司会やグループワークなどの進行に努め、参加者は積極的な意見を交わしました。また、昼食ビュッフェやシャインマスカットのタルト作りの体験などを通じて交流を深め、笑顔あふれる楽しい時間を過ごす事ができました。

参加されました皆さん、ありがとうございました。

連合三重では引き続き、次世代を担う青年組合員の育成・交流につながる取り組みを進めていきます。





▲みんなでタルト作り



▲タルト完成



▲グループワーク

2026年度 三重大学 寄付講座 を開講

連合三重では2013年から三重大学で寄付講座を行っており、今年も10月から1月までの期間に15回の講義を開講しています。

全体のテーマは「働くということと労働組合」として、社会に出る世代に社会人としての責任や働くことの意義と、労働法制などについて、公益社団法人教育文化協会の永井専務理事をはじめ各構成組織の役員を講師に、労働組合や連合の役割などについて伝えています。

また、三重労働局、三重県、三重県労働委員会、三重県経営者協会、三重県社会保険労務士会、フレンテみえ、福祉事業団体からの講義も予定しております。



▲熱心に講義を受ける学生の皆さん



▲永井 浩さん(教育文化協会)



▲宮脇孝輔さん(ゴム連合)



▲加藤義明さん(私鉄総連)



▲佐橋洋一さん(JAM)



▲宮本英悦さん(自治労)



▲中島美波さん(三教組)

三重退職者連合 第35回定期総会

平和で安心して暮らせる社会の実現をめざす



▲講師の
東海ブロック協議会
福重会長

10月29日、三重退職者連合は三重地方自治労働文化センターにおいて、第35回定期総会を開催しました。役員、代議員のほか、現職組合の方を含め91名の出席のもと、2026年度の活動報告をはじめ、2027年度の活動方針および予算などが決定されました。



▲総会

連合の仲間とともに、基本的人権が尊重され、平和で安心して暮らせる社会と将来に希望が持てる社会の実現を求め、生活者・納税者・高齢者の立場に立った活動を展開していくことを確認しました。

また、定期総会に続き記念講演会を開催しました。講師には日本退職者連合東海ブロック協議会の福重元博会長をお招きし、「生活習慣から認知症予防を考える～いつまでもあなたが笑顔で過ごすために～」と題し、日頃の生活習慣のなかで「発症を遅らせるヒント」について講演をいただきました。

12月10日は「世界人権デー」

1948年12月10日に第3回国連総会において、すべての国が達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択され、その日の12月10日を「世界人権デー」と定められました。

日本では、世界人権デーを最終日とする1週間（12月4日から10日まで）を「人権週間」と定め、全国的に啓発活動を行っています。三重県も、毎年11月11日から12月10日までの1か月間を「差別をなくす強調月間」と定め、県民の人権が尊重される社会の実現をめざして啓発活動を行っています。

連合三重は、部落解放三重県民会議に参画し、あらゆる差別をなくし、人権が尊重され、安心して暮らせる社会をめざして、あらゆる差別の撤廃を訴えます。

なお、12月4日（金）の17時15分から津駅東口にて街宣行動を行います。



▲街宣行動（昨年の様子）



いつでも どこでも 必ずそばにいる存在へ

―連合WEBマガジン―　RENGO ONLINE

連合はWEBマガジン「RENGO　ONLINE」を毎月5日、20日に発信しています。

労働に関わる時事テーマなどをはじめ、連合・労働組合の取り組みをわかりやすくタイムリーに発信しています。

ぜひご覧ください。

詳しくは
こちらから



安心社会づくりに向けた福祉活動に、各種団体と連携して取り組みます

三重県労福協
〒514-0004 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-2855
FAX 059-229-4433
ホームページ http://www.mie-rofkyo.jp
豊かで、公正な社会づくりをめざして。

働くあなたと、ともに
東海ろうきん
〒514-0003 津市桜橋2丁目126番地
TEL 059-224-0336
FAX 059-224-4819
ホームページ http://tokai.rokin.or.jp
私たちは、日本でただひとつ。はたらく人のための生活応援バンクです。

こくみん共済 coop
〒514-0004 津市栄町4-259-1
TEL 059-227-6167
FAX 059-225-5069
ホームページ https://www.zenrosai.coop
共済事業をとおして「労働者福祉運動」をサポートします。

三重県住宅生協
〒514-8540 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-0851
FAX 059-225-0337
ホームページ http://www.mie-jsk.or.jp/
理想の住まいづくりをカタチにする暮らしのパートナー。